

# 肝炎ウイルス検診結果の マイナポータルでの閲覧等について

自身の保健医療情報を活用できる仕組み（Personal Health Record : PHR）の検討状況

**（別添）**

## 経済財政運営と改革の基本方針2020～危機の克服、そして新しい未来へ～（令和2年7月17日閣議決定）

### 3章「新たな日常」の実現

#### 1. 「新たな日常」構築の原動力となるデジタル化への集中投資・実装とその環境整備（デジタルニューディール）

##### ② マイナンバー制度の抜本的改善

**関係府省庁は、PHR※の拡充を図るため、2021年に必要な法制上の対応を行い、2022年を目途に、マイナンバーカードを活用して、生まれてから職場等、生涯にわたる健康データを一覧性をもって提供できるよう取り組むとともに、当該データの医療・介護研究等への活用の在り方について検討する。**

※ Personal Health Record。生まれてから学校、職場など生涯にわたる個人の健康等情報をマイナポータル等を用いて電子記録として本人や家族が正確に把握するための仕組み。

#### 4. 「新たな日常」を支える包摂的な社会の実現

##### ① 「新たな日常」に対応した医療提供体制の構築等

（医療・介護分野におけるデータ利活用の推進）

感染症、災害、救急等の対応に万全を期すためにも、医療・介護分野におけるデータ利活用やオンライン化を加速し、**PHRの拡充も含めたデータヘルス改革を推進**する。

被保険者番号の個人単位化とオンライン資格確認の導入のための「保健医療データプラットフォーム」を2020年度に本格運用を開始するとともに、患者の保健医療情報を患者本人や全国の医療機関等で確認できる仕組みに関し、特定健診情報は2020年度中に、レセプトに基づく薬剤情報については2021年中に稼働させ、さらに手術等の情報についても2022年中に稼働させる。それ以外のデータ項目については、情報連携の必要性や費用対効果等を検証しつつ、技術動向等を踏まえ、2020年中を目途にデータヘルス改革に関する工程を具体化する。医療分野の個人情報の保護と利活用の推進策を検討する。

## 成長戦略フォローアップ（令和2年7月17日閣議決定）

### 6. 個別の取組

#### iii) スマート公共サービス

##### ⑤ マイナンバーカードの普及、利活用の促進等

**PHR※の拡充を図るため、2021年に必要な法制上の対応を行い、2022年を目途に、マイナンバーカードを活用して、生まれてから職場等、生涯にわたる健康データを一覧性をもって提供できるよう取り組むとともに、当該データの医療・介護研究等への活用の在り方について検討する。**

※ Personal Health Record。生まれてから学校、職場など生涯にわたる個人の健康等情報をマイナポータル等を用いて電子記録として本人や家族が正確に把握するための仕組み。

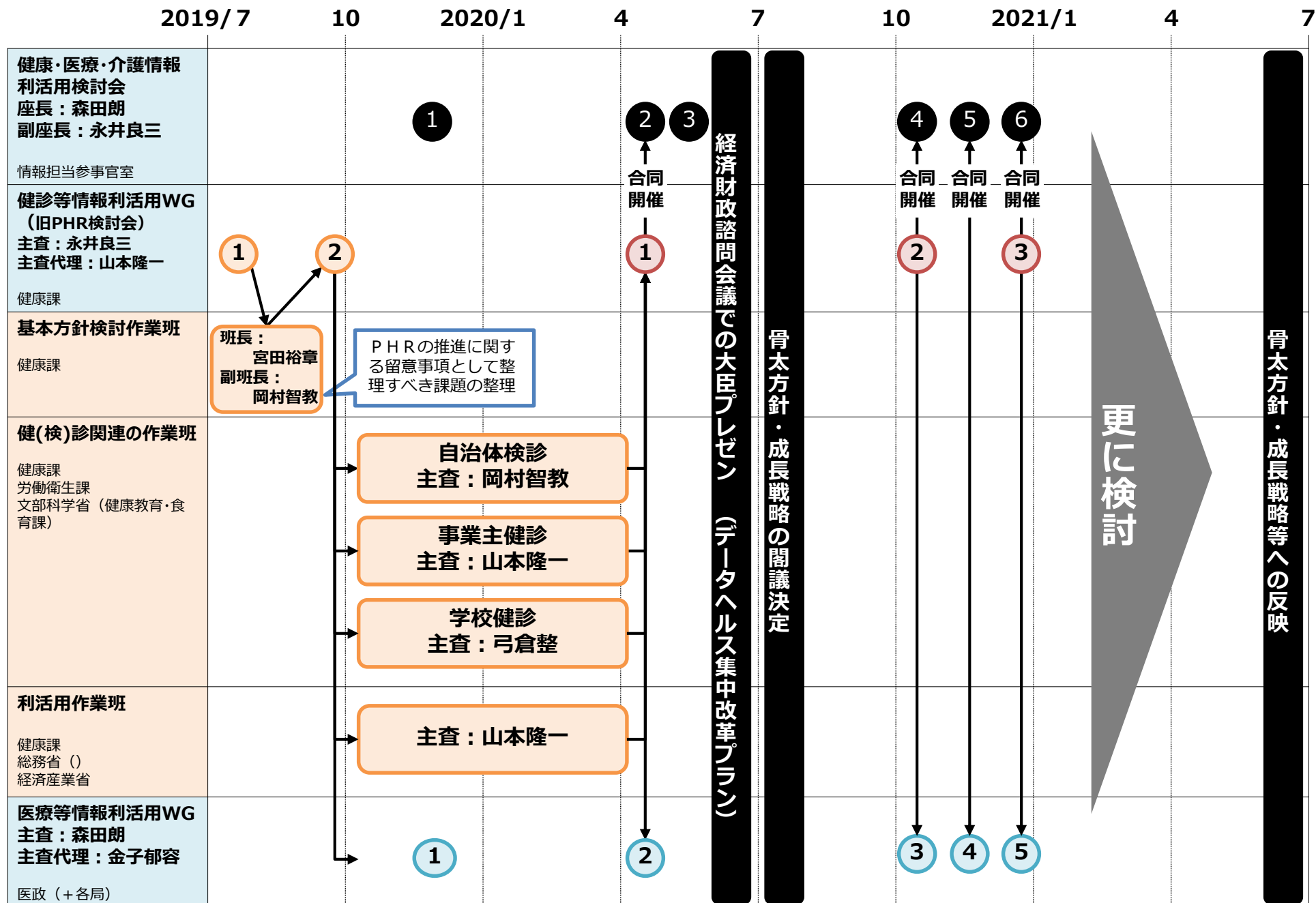
#### vii) 次世代ヘルスケア

##### ① 技術革新等を活用した効果的・効率的な医療・福祉サービスの確保

（PHRの推進）

- 個人の健診や服薬履歴等を本人や家族が一元的に把握し、日常生活改善や必要に応じた受診、医療現場での正確なコミュニケーションに役立てるため、PHR（Personal Health Record）を引き続き推進する。
- マイナポータル等を通じた個人へのデータ提供については、2020年6月から乳幼児健診等情報を開始するとともに、2021年3月から特定健診等情報を、2021年10月から薬剤情報をそれぞれ開始することを目指す。その他の健診・検診情報については、2020年夏に策定する工程表に基づいた必要な法令の整備や地方公共団体等への支援など、実現に向けた環境整備を行い、2022年を目途に電子化・標準化された形での提供の開始を目指す。
- 民間事業者等によるPHRのデータ利活用については、マイナポータル等とのAPI連携や民間事業者に必要なルールの在り方等を2020年度目途に策定し、同サービスの普及展開を図る。

# これまでのPHR政策に関する検討経緯



# 各検討会の構成員

## 健康・医療・介護等情報利活用検討会

	秋山智弥	(公社) 日本看護協会 副会長
	石川広己	(公社) 日本医師会 常任理事
	印南一路	慶應義塾大学総合政策学部 教授
	遠藤秀樹	(公社) 日本歯科医師会 副会長
	大道道大	(一社) 日本病院会 副会長
	小泉立志	(公社) 全国老人福祉施設協議会 理事
	穴戸常寿	東京大学大学院法学政治学研究科 教授
	高倉弘喜	国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系 教授
	高橋 肇	(公社) 全国老人保健施設協会 常任理事
	田尻泰典	(公社) 日本薬剤師会 副会長
	田宮菜奈子	筑波大学医学医療系教授
	利光久美子	愛媛大学医学部附属病院栄養部部長
○	永井良三	自治医科大学学長
	牧野和子	(一社) 日本介護支援専門員協会 副会長
	松川紀代	認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 委員バンク登録会員
	宮田裕章	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授
◎	森田朗	津田塾大学総合政策学部 教授
	山本隆一	(一財) 医療情報システム開発センター 理事長

### + オブザーバー

㊦	齋藤俊哉	(公社) 国民健康保険中央会 理事
㊦	高橋弘明	(一社) 保健医療福祉情報システム工業会 運営会議 議長
㊦	三好昌武	社会保険診療報酬支払基金 専務理事

## 健診等情報利活用WG (IBPHR検討会)

	岡村智教	慶應義塾大学衛生学公衆衛生学教室 教授
	中山健夫	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授
◎	永井良三	自治医科大学 学長
	長島公之	(公社) 日本医師会 常任理事
	樋口範雄	武蔵野大学法学部法律学科 特任教授
	松田晋哉	産業医科大学医学部公衆衛生学産業保健データサイエンスセンター 教授
	宮田裕章	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授
	山口育子	認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長
○	山本隆一	(一財) 医療情報システム開発センター 理事長
	渡邊大記	(公社) 日本薬剤師会 常任理事
	宇佐見伸治	(公社) 日本歯科医師会 常務理事

## 自治体健診作業班

◎	岡村智教	慶應義塾大学衛生学公衆衛生学教室 教授
	金本昭彦	(一社) 保健医療福祉情報システム工業会 保健福祉システム部会福祉システム委員会 委員長
	是永匡紹	(国研) 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝炎情報センター 肝疾患研修室長
	高柴正悟	岡山大学大学院医歯学総合研究科歯周病態学分野 教授
	高橋宏和	(国研) 国立がん研究センター社会と健康研究センター 検診研究部室長
	長島公之	(公社) 日本医師会 常任理事
	中澤よう子	全国衛生部長会
	西本美和	全国保健師長会
	福内恵子	全国保健所長会
	山懸然太郎	山梨大学大学院総合研究部医学域 教授
	山本秀樹	(公社) 日本歯科医師会 常任理事
	吉村典子	東京大学医学部附属病院22世紀医療センター-OCOMO予防学講座 特任教授

# 自身の保健医療情報を閲覧・活用できる仕組み（ACTION 3）

第7回データヘルス改革推進本部資料  
(令和2年7月30日)

## 現状

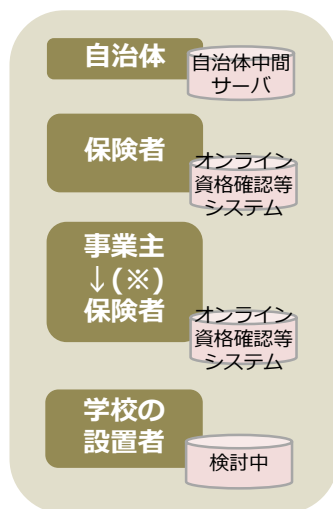
- 国民等が健診情報等にワンストップでアクセスし、閲覧・活用することが困難
- 健診結果が電子化されておらず、円滑な確認が困難であることや災害時等における紛失リスクが存在
- 新たな感染症等の発生時に、医療機関や保健所が本人から正確な情報を収集し、健康状態のフォローアップをすることが重要

## 改革後

- 国民が、マイナポータル等を通じて、自身の保健医療情報をPCやスマホ等で閲覧・活用が可能
- API連携等を通じて、個人のニーズに応じた、幅広い民間PHRサービスの活用



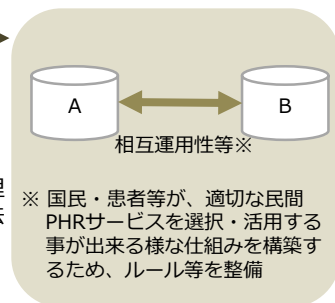
### 健診等の実施主体



### 国民・患者



### 民間PHR事業者等



受診時に簡単に情報を共有でき、円滑なコミュニケーションが可能となる

### 医療専門職等



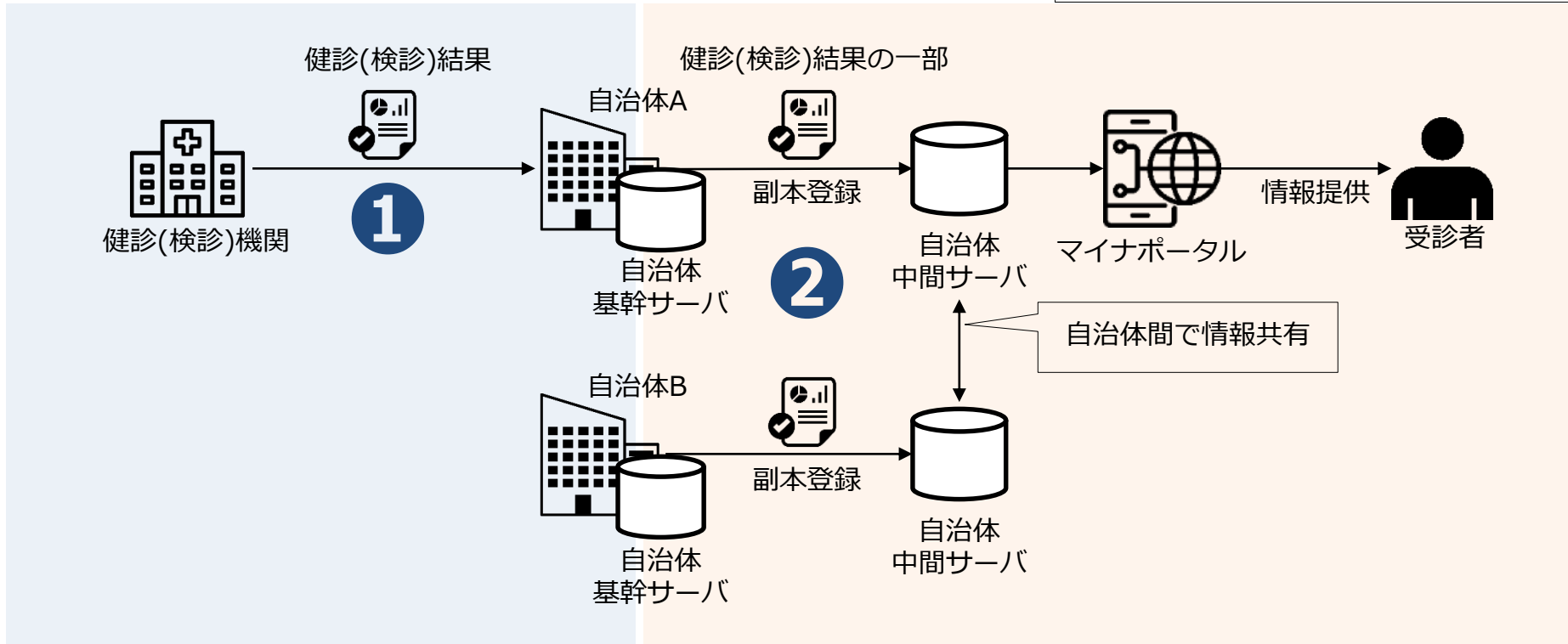
国民・患者等に対して、適切な医療や保健指導等を提供するために必要な連携

※ 事業主健診情報については、保険者へ情報を集めるための法制上の対応を講ずることで保険者へ情報を集約させ、保険者からオンライン資格確認等システムに登録することにより、閲覧を可能とする予定。

# 肝炎ウイルス検診のフォーマット

# 自治体検診フォーマットの全体像

第6回健康・医療・介護情報利活用検討会、  
第5回医療等情報利活用WG及び第3回健診等情報利活用WG  
(令和2年12月9日) 参考資料5-3 の一部抜粋





	概要	対応方針
①	健診機関から自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマット	健診指針に基づく標準フォーマット【2020年度を目途に公表予定】
②	自治体が中間サーバに登録するためのデータ標準レイアウト	番号法に基づくデータ標準レイアウト【2021年度6月を目途に公表予定】



# ①健診機関から自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマット (全体の構成)

第6回健康・医療・介護情報活用検討会、  
第5回医療等情報活用WG及び第3回健診等情報活用WG  
(令和2年12月9日) 参考資料5-3 の一部抜粋

エクセルファイルの種類	健診機関から自治体への送付する際の運用	
<b>①-a</b> 自治体検診情報の交換用基本情報ファイル	健診機関から自治体へのデータ送信ごとにその内容を記録するファイル <ul style="list-style-type: none"> <li>● 送信元機関コード、名称</li> <li>● 送信先自治体コード、名称</li> <li>● 作成年月日</li> <li>● 同時に送付する検診情報ファイルの総ファイル数</li> </ul>	1送信あたり1ファイル  
<b>①-b</b> 自治体検診情報ファイル	個々の検診結果の内容を記録するファイル <ul style="list-style-type: none"> <li>● 受診情報</li> <li>● 自治体検診実施機関情報</li> <li>● 受診者情報</li> <li>● 自治体検診結果・問診結果情報</li> </ul>	1送信あたり複数ファイル可 1検診結果あたり1ファイル  
<b>①-c</b> 自治体検診結果・検診情報	①-b.自治体検診情報ファイルへ、検診結果・問診結果の入力時に参照するファイル(特定健診の場合の別紙17に相当) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 項目コード(JLACコード)、項目名</li> <li>● データタイプ、単位 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">肝炎ウイルス</span></li> <li>● 備考 (入力方法を記載)</li> </ul>	(送信しない)



# ① 健診機関から自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマット（基本情報ファイル）

第6回健康・医療・介護情報活用検討会、  
第5回医療等情報活用WG及び第3回健診等情報活用WG  
(令和2年12月9日) 参考資料5-3 の一部抜粋

ファイルの 記録内容	フィールド名称	モード	最大 バイト	データ 形式	記録内容	備考
	送付元機関コード	数字	10	可変	特定健診機関番号を記録 精密検査の場合は、医療機関番号を記録 上記番号を持たない機関は記載不要	
	送付元機関名	漢字	40	可変	送付元機関名称を記録	
	送付先自治体コード	数字	10	可変	送付先となる自治体の市区町村コードを記録	
	送付先自治体名	漢字	40	可変	送付先となる自治体の名称を記録	
	作成年月日	数字	8	固定	ファイルの作成年月日(西暦)を記録	
	総ファイル数	数字	8	可変	自治体検診情報ファイルの総ファイル数を記録	

# ① 健診機関から自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマット（自治体検診情報ファイル その1）

第6回健康・医療・介護情報活用検討会、  
 第5回医療等情報活用WG及び第3回健診等情報活用WG  
 （令和2年12月9日）参考資料5-3 の一部抜粋

ファイルの記録内容	フィールド名称	モード	最大バイト	データ形式	解説	備考
受診情報	実施年月日	数字	8	固定	自治体検診又は精密検査の実施年月日(西暦)を記録	YYYYMMDD
	受診方法	数字	1	固定	1. 個別 2. 集団	
	区分	数字	1	固定	1. 一次検診 2. 精密検査	
自治体検診実施機関情報	機関番号	数字	10	固定	特定健診機関番号を記録 精密検査の場合は、保険医療機関番号を記録 上記番号を持たない機関は記載不要	
	名称	漢字	40	可変	自治体検診又は精密検査の実施機関名称を記録	
	郵便番号	英数	8	固定	自治体検診又は精密検査実施機関の郵便番号を記録	NNN—NNNN
	所在地	漢字	80	可変	自治体検診又は精密検査実施機関の所在地を記録	
	電話番号	英数	15	可変	自治体検診又は精密検査実施機関の電話番号を記録	

# ① 健診機関から自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマット（自治体検診情報ファイル その2）

第6回健康・医療・介護情報利活用検討会、  
 第5回医療等情報利活用WG及び第3回健診等情報利活用WG  
 (令和2年12月9日) 参考資料5-3 の一部抜粋

ファイルの記録内容	フィールド名称	モード	最大バイト	データ形式	解説	備考
自治体検診情報  受診者情報	自治体独自の管理番号 (住民番号・受診券番号等)	英数	64	固定		
	保険者番号	数字	8	固定	自治体検診又は精密検査の受診者が加入している保険者の保険者番号を記録	
	被保険者証等記号	漢字又は英数	40	可変	自治体検診又は精密検査の受診者の被保険者証等記号を記録	
	被保険者証等番号	漢字又は英数	40	可変	自治体検診又は精密検査の受診者の被保険者証等番号を記録	
	枝番	数字	2	固定	個人単位被保険者番号の枝番を記録	
	氏名	全角カタカナ	40		自治体検診又は精密検査の受診者氏名を記録	
	生年月日	数字	8	固定	自治体検診又は精密検査の受診者の生年月日(西暦)を記録	YYYYMMDD
	受診時年齢	数字	3	可変	自治体検診又は精密検査の受診者の受診時年齢を記録	
	男女区分	数字	1	固定	自治体検診又は精密検査の受診者の性別を記録 1. 男 2. 女	
	郵便番号	英数	8	固定	自治体検診又は精密検査の受診者の郵便番号を記録	NNN—NNNN

# ① 健診機関から自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマット（自治体検診情報ファイル その3）

第6回健康・医療・介護情報利活用検討会、  
第5回医療等情報利活用WG及び第3回健診等情報利活用WG  
(令和2年12月9日) 参考資料5-3 の一部抜粋

ファイルの 記録内容	フィールド名称	モード	最大 バイト	データ 形式	解説	備考
自治体検診結果・ 問診結果情報	住所	漢字	80	可変	自治体検診又は精密検査の受診者の住所を記録	
	電話番号	英数	15	可変	自治体検診又は精密検査の受診者の電話番号を記録	
	項目コード	数字	17	可変	自治体検診又は精密検査の項目コード(JLAC10・17桁コード)を記録	「自治体検診結果・問診情報」
	項目名	漢字又は英数	40	可変	自治体検診又は精密検査の項目名を記録(省略可)	
	データ値	数字又は漢字	項目により可変	可変	自治体検診又は精密検査のデータ値を記録	
	単位	漢字又は英数	項目により可変	可変	自治体検診又は精密検査のデータ値の単位を記録(省略可)	

# ① 健診機関から自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマット（肝炎ウイルス検診結果・検診情報）

第6回健康・医療・介護情報活用検討会、  
第5回医療等情報活用WG及び第3回健診等情報活用WG  
(令和2年12月9日) 参考資料5-3 の一部抜粋

項目コード	項目名	データ基準			データ値コメント			備考
		データ値	下限値	上限値	データタイプ	単位	基準範囲外	
	肝炎ウイルス検診時の問診: 肝臓病歴、肝機能が悪いと言われた経験の有無				コード			1.はい、2.いいえ
	肝炎ウイルス検診時の問診: 肝臓病歴、肝機能が悪いと言われた時期				数字			年頃
	肝炎ウイルス検診時の問診: 広範な外科的処置歴の有無				コード			1.はい、2.いいえ
	肝炎ウイルス検診時の問診: 広範な外科的処置時期				数字			年頃
	肝炎ウイルス検診時の問診: 妊娠・分娩時の多量出血歴の有無				コード			1.はい、2.いいえ
	肝炎ウイルス検診時の問診: 妊娠・分娩時の多量出血の時期				数字			年頃
	肝炎ウイルス検診時の問診: 定期的な肝機能検査受診の有無				コード			1.はい 2.いいえ
	肝炎ウイルス検診時の問診: B型肝炎ウイルス検査の受診歴の有無				コード			1.はい、2.いいえ 3.わからない
	肝炎ウイルス検診時の問診: B型肝炎ウイルス検査の受診時期				数字			年頃
	肝炎ウイルス検診時の問診: B型肝炎治療歴の有無				コード			1.はい、2.いいえ 3.わからない
	肝炎ウイルス検診時の問診: B型肝炎治療時期				数字			年頃
	肝炎ウイルス検診時の問診: C型肝炎ウイルス検査の受診歴の有無				コード			1.はい、2.いいえ 3.わからない
	肝炎ウイルス検診時の問診: C型肝炎ウイルス検査の受診時期				数字			年頃
	肝炎ウイルス検診時の問診: C型肝炎治療歴の有無				コード			1.はい、2.いいえ 3.わからない
	肝炎ウイルス検診時の問診: C型肝炎治療時期				数字			年頃
	肝炎ウイルス検診のB型肝炎ウイルス検査判定				コード			B型肝炎ウイルス検査時の判定を入力。 1:陰性 2:陽性 3:検査を受けず
	肝炎ウイルス検診のC型肝炎ウイルス検査判定				コード			C型肝炎ウイルス検査時の判定を入力。 1.現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い 2.現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い 3:検査を受けず
	肝炎ウイルス検診の精密検査結果				コード			1.無症候性キャリア(B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス) 2.慢性肝炎(B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる) 3.肝硬変(B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる) 4.肝がん(B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる) 5.その他

# ②自治体が中間サーバに登録するためのデータ標準レイアウト (構成)

第6回健康・医療・介護情報活用検討会、  
第5回医療等情報活用WG及び第3回健診等情報活用WG  
(令和2年12月9日) 参考資料5-3 の一部抜粋

入力必須  
・任意の別

【基本情報】  
受診日・保険者番号・受診時年齢・  
受診医療機関・受診方法(集団・個  
別の別)などを記載欄

【問診】  
問診結果の記載欄

【検査結果】  
各検診で行われる検査の検査判定、  
検査所見、精密検査の対象有無など  
の記載欄

【精検情報】  
一次検診後に精密検査を行った場  
合に、その受診日、受診医療機関名、  
精密検査結果を記載

項目名	項目 単位	電子上での 登録項目への 付与		中間サーバ標準フォーマット項目の構成					
		必須	任意	データ項目名	データ型	データ長(文字種別の場合は構成文字種)	データ長	データ属性	データ項目説明
基本情報	受診時年齢	●		個人検診の受診時年齢	数	—	4桁	可	年齢ユニット毎検査対象年齢範囲を入力。 例: 2020年度 → 2020
	受診時年齢	●		個人検診の受診時年齢	文字列	半角数字	3桁	可	年齢ユニット毎検査対象年齢範囲を入力。(1歳)
	保険者番号	●		保険者番号	文字列	半角数字	8桁	可	加入する健康保険番号を入力。
	受診医療機関	●		受診医療機関	文字列	全角	20桁	可	加入する健康保険番号を入力。
	受診方法	●		個人検診の受診方法	文字列	半角数字	1桁	可	年齢ユニット毎検査対象した医療機関を入力。 1: 個別 2: 集団
問診	問診(医師)結果	●		個人検診の問診(医師)結果	文字列	半角数字	1桁	可	問、診、問、診、問、診、1: あり 2: なし 3: not defined
	問診(看護師)結果	●		個人検診の問診(看護師)結果	文字列	半角数字	4桁	可	年齢ユニット毎検査対象の問診結果を入力。 問診結果は必ず入力する。
胸部エックス線検査	受診日	●		個人検診の胸部エックス線検査受診日	日付	—	8桁	可	胸部エックス線検査受診日を入力。 例: 2020年1月1日 → 20200101
	検査判定	●		個人検診の胸部エックス線検査判定	文字列	半角数字	1桁	可	検査判定を入力。 (A: 異常なし B: 異常あり C: 異常あり(精密検査必要) D: 異常あり(精密検査不要) E: 異常あり(精密検査不要) F: 異常あり(精密検査不要) G: 異常あり(精密検査不要) H: 異常あり(精密検査不要) I: 異常あり(精密検査不要) J: 異常あり(精密検査不要) K: 異常あり(精密検査不要) L: 異常あり(精密検査不要) M: 異常あり(精密検査不要) N: 異常あり(精密検査不要) O: 異常あり(精密検査不要) P: 異常あり(精密検査不要) Q: 異常あり(精密検査不要) R: 異常あり(精密検査不要) S: 異常あり(精密検査不要) T: 異常あり(精密検査不要) U: 異常あり(精密検査不要) V: 異常あり(精密検査不要) W: 異常あり(精密検査不要) X: 異常あり(精密検査不要) Y: 異常あり(精密検査不要) Z: 異常あり(精密検査不要)
	精密検査	●		個人検診の胸部エックス線検査精密検査	文字列	全角	50桁	可	検査の結果ありの場合に入力
喀痰検査情報	受診日	●		個人検診の喀痰検査受診日	日付	—	8桁	可	喀痰検査受診日を入力。 例: 2020年1月1日 → 20200101
	検査判定	●		個人検診の喀痰検査判定	文字列	半角数字	1桁	可	検査判定を入力。 (A: 異常なし B: 異常あり C: 異常あり(精密検査必要) D: 異常あり(精密検査不要) E: 異常あり(精密検査不要) F: 異常あり(精密検査不要) G: 異常あり(精密検査不要) H: 異常あり(精密検査不要) I: 異常あり(精密検査不要) J: 異常あり(精密検査不要) K: 異常あり(精密検査不要) L: 異常あり(精密検査不要) M: 異常あり(精密検査不要) N: 異常あり(精密検査不要) O: 異常あり(精密検査不要) P: 異常あり(精密検査不要) Q: 異常あり(精密検査不要) R: 異常あり(精密検査不要) S: 異常あり(精密検査不要) T: 異常あり(精密検査不要) U: 異常あり(精密検査不要) V: 異常あり(精密検査不要) W: 異常あり(精密検査不要) X: 異常あり(精密検査不要) Y: 異常あり(精密検査不要) Z: 異常あり(精密検査不要)
	精密検査	●		個人検診の喀痰検査精密検査	文字列	全角	50桁	可	検査の結果ありの場合に入力
精検情報	受診日	●		個人検診の精密検査受診日	日付	—	8桁	可	精密検査受診日を入力。 例: 2020年1月1日 → 20200101
	受診医療機関	●		個人検診の精密検査受診医療機関	文字列	全角	20桁	可	精密検査受診医療機関を入力
	精密検査結果	●		個人検診の精密検査結果	文字列	半角数字	1桁	可	精密検査の結果ありの場合に入力。 1: 異常なし 2: 異常あり(精密検査必要) 3: 異常あり(精密検査不要) 4: 異常あり(精密検査不要) 5: 異常あり(精密検査不要) 6: 異常あり(精密検査不要) 7: 異常あり(精密検査不要) 8: 異常あり(精密検査不要) 9: 異常あり(精密検査不要) 10: 異常あり(精密検査不要) 11: 異常あり(精密検査不要) 12: 異常あり(精密検査不要) 13: 異常あり(精密検査不要) 14: 異常あり(精密検査不要) 15: 異常あり(精密検査不要) 16: 異常あり(精密検査不要) 17: 異常あり(精密検査不要) 18: 異常あり(精密検査不要) 19: 異常あり(精密検査不要) 20: 異常あり(精密検査不要)

【中間サーバ標準レイアウトの内容】  
データ項目名・構成文字種・データ長などを定義



## ②自治体が中間サーバに登録するためのデータ標準レイアウト

## (肝炎ウイルス検診 その1)

第6回健康・医療・介護情報活用検討会、  
第5回医療等情報活用WG及び第3回健診等情報活用WG  
(令和2年12月9日) 参考資料5-3 の一部抜粋

項目名	法定項目	PHRで情報提供すべき情報		中間サーバ標準フォーマット(空欄は今後検討)				
		必須	任意	データ項目名	データ型	データ型が文字列型の 場合の構成文字種	データ長	データ項目説明
基本情報	●	●		肝炎ウイルス検診の受診日	日付	—	8 固定	B型肝炎ウイルス検査受診日を年月日で入力。 例:2020年1月1日 → 20200101
	●	●		肝炎ウイルス検診の受診年度	年	—	4 固定	B型肝炎ウイルス検査受診年度を西暦で入力。 例:2020年度 → 2020
	●	●		肝炎ウイルス検診の受診時年齢	文字列	半角数字	3 可変	B型肝炎ウイルス検査受診時の年齢を入力。( 歳)
			●	保険者番号	文字列	半角数字	8 可変	加入する保険者番号を入力。
			●	被保険者番号	文字列	全角	20 可変	加入する被保険者番号を入力。
		●		肝炎ウイルス検診の受診医療機関	文字列	全角	50 可変	B型肝炎ウイルス検査を受診した医療機関名を入力。
問診	●	●		肝炎ウイルス検診時の問診: 肝臓病歴、肝機能が悪いと言われた経験の有無	文字列	半角数字	1 可変	1.はい、2.いいえ
	●	●		肝炎ウイルス検診時の問診: 肝臓病歴、肝機能が悪いと言われた時期	年	—	4 固定	年頃
	●	●		肝炎ウイルス検診時の問診: 広範な外科的処置	文字列	半角数字	1 可変	1.はい、2.いいえ
	●	●		肝炎ウイルス検診時の問診: 広範な外科的処置	年	—	4 固定	年頃
	●	●		肝炎ウイルス検診時の問診: 妊娠・分娩時の多量	文字列	半角数字	1 可変	1.はい、2.いいえ
	●	●		肝炎ウイルス検診時の問診: 妊娠・分娩時の多量	年	—	4 固定	年頃
	●	●		肝炎ウイルス検診時の問診: 定期的な肝機能検査	文字列	半角数字	1 可変	1.はい 2.いいえ
	●	●		肝炎ウイルス検診時の問診: B型肝炎ウイルス検査	文字列	半角数字	1 可変	1.はい、2.いいえ 3.わからない
	●	●		肝炎ウイルス検診時の問診: B型肝炎ウイルス検査	年	—	4 固定	年頃



## ②自治体が中間サーバに登録するためのデータ標準レイアウト (肝炎ウイルス検診 その1)

第6回健康・医療・介護情報利活用検討会、  
第5回医療等情報利活用WG及び第3回健診等情報利活用WG  
(令和2年12月9日) 参考資料5-3 の一部抜粋

項目名	法定項目	PHRで情報提供すべき情報		中間サーバ標準フォーマット(空欄は今後検討)					
		必須	任意	データ項目名	データ型	データ型が文字列型の 場合の構成文字種	データ長	データ項目説明	
	●		●	肝炎ウイルス検診時の問診:B型肝炎治療歴の有無	文字列	半角数字	1	可変	1.はい、2.いいえ 3.わからない
	●		●	肝炎ウイルス検診時の問診:B型肝炎治療時期	年	—	4	固定	年頃
	●		●	肝炎ウイルス検診時の問診:C型肝炎ウイルス検査の有無	文字列	半角数字	1	可変	1.はい、2.いいえ 3.わからない
	●		●	肝炎ウイルス検診時の問診:C型肝炎ウイルス検査時期	年	—	4	固定	年頃
	●		●	肝炎ウイルス検診時の問診:C型肝炎治療歴の有無	文字列	半角数字	1	可変	1.はい、2.いいえ 3.わからない
	●		●	肝炎ウイルス検診時の問診:C型肝炎治療時期	年	—	4	固定	年頃
B型肝炎ウイルス検査情報	●	●		肝炎ウイルス検診のB型肝炎ウイルス検査判定	文字列	半角数字	1	可変	B型肝炎ウイルス検査時の判定を入力。 1:陰性 2:陽性 3:検査を受けず
C型肝炎ウイルス検査情報	●	●		肝炎ウイルス検診のC型肝炎ウイルス検査判定	文字列	半角数字	1	可変	C型肝炎ウイルス検査時の判定を入力。 1.現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い 2.現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い 3.検査を受けず
精検情報			●	肝炎ウイルス検診の精密検査受診日	日付	—	8	固定	精密検査受診日を年月日で入力。例:2020年1月1日 → 20200101
			●	肝炎ウイルス検診の精密検査受診医療機関名	文字列	全角	50	可変	精密検査受診医療機関名を入力
			●	肝炎ウイルス検診の精密検査結果	文字列	半角数字	1	可変	1.無症候性キャリア(B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス) 2.慢性肝炎(B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる) 3.肝硬変(B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる) 4.肝がん(B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる) 5.その他